

第31回関西学生対校女子駅伝競走大会

開催日：2021年9月25日(土)

場所：神戸しあわせの村

種目	距離	名前	学年	通過着順	区間着順	記録	備考
総合	30.0km	関西外国語大学		総合5位 (15チーム中)		1時間42分10秒	全日本大学女子駅伝 出場決定 (2年連続7回目)
1区	3.9km	山岸 みなみ	2年	4	4	12分55秒	1位 立命館大学(シード) 1.39.57 2位 大阪芸術大学 1.41.17 3位 関西大学(シード) 1.41.28 4位 佛教大学 1.41.56 5位 関西外国語大学 1.42.10 6位 兵庫大学 1.42.29 (上記6チームと大阪学院大学(シード)、7チームが関西地区から本大会に出場)
2区	3.3km	細江 美玖	4年	6	6	10分50秒	
3区	6.5km	西出 優月	4年	6	10	22分21秒	
4区	6.5km	矢尾 桃子	3年	5	1	21分52秒	
5区	3.3km	長谷川 菜摘	4年	4	4	10分59秒	
6区	6.5km	小椋 美海	4年	5	7	23分13秒	

【山本コメント】

本大会は31回の伝統があり、関西のチャンピオンを決める優勝争いと、全日本大学女子駅伝への出場権をかけてしのぎを削る勝負が例年熾烈を極め、沿道の応援もたいへん盛り上がる。しかし、コロナの影響で、今年も昨年に引き続き無観客での開催となった。秋晴れの強い日差しの中でレースは行われ、本学は過去最高順位タイの5位でフィニッシュし、シード3校を除く出場関西校「4つ」のうちの3番目で全日本大学女子駅伝への出場権を獲得することができた。

レースは、3区終了まで6チームが1分以内と接戦になった。その後、4区以降に立命館大学が抜け出し、最終的には2位に1分以上の差をつけて優勝した。本学を含む2-6位の大学は、5区終了時まで1分以内と拮抗した勝負になった中、本学は終盤まで粘って過去本学最高順位タイの5位でフィニッシュし、仙台への出場権を確保した。出場した学生たちは自分の区間の中で最後までベストを尽くし、駅伝レースとしていい流れを作ったが、中でも4区の矢尾桃子は、本学選手として初の区間賞を獲得する走りチームに勢いをつけた。

しかし、チームとして100%の出来だったとはいえ、個々で見ると悔しい思いをした学生がいたり、準備が整わず今大会ではサポートに回った学生もいた。幸運にも出場権を獲得した全日本大学女子駅伝では、チーム態勢をさらに整えて臨めるように準備していきたい。

コロナ禍において、若者はこれまでは普通にあった機会、経験の場を数多く失ってきている。今大会で学生たちが全力でタスキをつなぎ、全力でサポートの仕事をしている様子を見て、また本学の学生も他大学の学生も結果に喜び、結果に悔しがついている場面を見て、本大会が開催されて本当によかった実感した。こういった機会は、学生の成長にとって、学生の人生に豊かにするために必要不可欠な機会であり、それが過剰に制限されることがあってはならないだろう。本大会の開催に向けて準備、運営にご尽力いただいた方々、ご理解ご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。